



新着図書案内



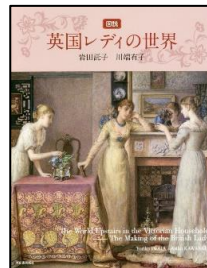
2016年11月発行



『ボスの怪物ブック』

レオナルド・ダ・ヴィンチと同時代に活躍し、幻想的な怪物を多数描いたオランダの画家ボス。その作品の中から約90体の魅力的な怪物たちをキャラクター化。「怪物図鑑」感覚の遊び心あふれるアートブック。

スタジオ ハードデラックス // 編 小学館



『図説英国レディの世界』

19世紀英国・中流階級の女性が、結婚し妻となり母となり尊敬される「レディ」になるまでを、ヴィクトリア朝の暮らしを彩った「もの」と「こと」から読み解く。英国レディを取り巻く文化のルーツを探る試み。

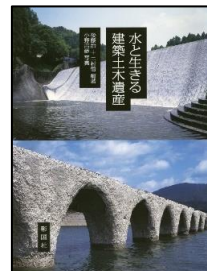
岩田 託子 // 著 川端 有子 // 著 河出書房新社



『ゴッホの地図帖』

オランダ南部のズンデルトに始まり、フランス北部のオーヴェール=シュル=オーズまで…。ゴッホが37年の生涯に住んだ20カ所以上の土地を、彼の膨大な作品と資料でたどる。

ニーンケ デーネカンブ 他 // 著 講談社



『水と生きる建築土木遺産』

ダムや水道施設、閘門など、水にかかわる建築土木遺産の歴史や技術を、カラー写真とともにコンパクトに解説する。全国建設研修センター機関誌『国づくりと研修』連載をもとに書籍化。

後藤 治 // 編著 二村 悟 // 編著 彰国社



『大相撲の道具ばなし』

大相撲の興行に欠かせない道具に注目。「廻し」「軍配」はもとより「相撲櫛」「化粧水」など知られざるものにも焦点をあて、江戸時代から今日までの出来事、逸話などを盛り込みながら解説する。

坂本 俊夫 // 著 現代書館



『虫の目になってみた』

昆虫は世界をどんなふうに見ているのか。アブラムシを食べるテントウムシ、シジミチョウの幼虫とアリの蜜月、臭いでSOSを送るカメムシなど、小さな脳しか持たない彼らの合理的な生き様を、昆虫目線で追いかける。

海野 和男 // 著 河出書房新社



『コケを見に行こう!』

コケを観察する「コケ見」を始めた人に向けて、コケの基本情報、生態を解説。世田谷区の等々力溪谷や古都鎌倉、北八ヶ岳、屋久島など、バラエティーに富んだコケ見スポットと、そこに生息しているコケ情報も案内する。

左古 文男 // 著 技術評論社



『すきになったら』

すきになったら、いっしょにわらいたいし、あなたのかなしみをしりたくなる。どんなはなしもうけとめてあげたいし、ひとこともききのがしたくない。「すき」という気持ちを知った人におくる、ヒグチユウコが描く愛の絵本。

ヒグチ ユウコ // 作 ブロンズ新社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧ください。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『リストラ中年奮戦記』

音響メーカーのサラリーマンだった著者。50歳目前にリストラで退職し、職業訓練校の造園科に入学。松戸の造園会社で仕事を覚え、庭師として独立し、森林ボランティアに出会う…。リストラ中年の20年の軌跡を綴る。

高木 喜久雄 // 著 あげび書房

『クルマの図書館コレクション』

好きなものは「図書館めぐりとクルマ」という著者が、クルマに関する玩具や広告といったコレクションのほか、図書館を使ったことのないクルマ好きに向けて図書館の世界を紹介する。クルマ好きにおすすめの図書館も収録。

内野 安彦 // 著 郵研社

『チョコレート語辞典』

チョコレートに関するいろいろな言葉を50音順に配列した絵辞典。チョコレートの歴史や種類、製造方法などの基本的な情報や特別編集「映画の中のチョコレート」、コラムも収録する。

Dolcerica 香川理馨子 // 著 誠文堂新光社

『絵で見る天使百科』

天使とは何か。何をしているのか。その役割とは…。全ページにわたるフルカラーの美しい天使像とともに、天使に関する各宗教・哲学での考え方や意義などをわかりやすく紹介する。

クリスティーン アステル // 著 原書房

『私をリーダーに導いた250冊』

トップリーダー50人の人生を変えた愛読書を、実体験に基づいたエピソードを交えて一挙紹介する熱き読書案内。『朝日新聞』の連載「リーダーたちの本棚」から50回分を加筆訂正して書籍化。

朝日新聞出版 // 編 朝日新聞出版

『小松左京の猫理想郷(ネコトピア)』

日本SF界を代表する作家・小松左京。猫好きとしても知られる彼の“猫”に関する小説、エッセイ、対談等をまとめたアンソロジー集。『小松左京マガジン』に掲載されたとり・みきの4コマ漫画、ヤマザキマリのがきも収録。

小松 左京 // 著 小松左京ライブラリ // 監修 竹書房

『仕掛学

人を動かすアイデアの作り方』

小さな鳥居を設置すると、ポイ捨てしづらくなる。仕掛けは行動の選択肢を増やすもの。仕掛けの仕組み、発想法など、著者がこれまで取り組んできた、行動を変化させる「仕掛け」についての研究を平易にまとめる。

松村 真宏 // 著 東洋経済新報社

『オランダのモダン・デザイン』

20世紀オランダ・デザインを代表する、リートフェルトとディック・ブルーナ、そして独創的な玩具リーズADO。シンプルで人間性溢れる、彼らの世界を紹介する。2016～2017年開催の同名展覧会図録。

ライヤー クラス // 監修 平凡社

『永遠の野球少年』

古希野球チームの強豪「西毛安中クラブ」。メンバーは全員70歳以上、重度の持病を抱えながらも、プレーは真剣そのもの。なぜ、そこまでして白球を追いかけるのか。その理由に迫り、生命の意味をも問うノンフィクション。

中 大輔 // 著 竹書房

『日本の助数詞に親しむ』

海にいるときは一匹の魚が、釣り上げられると一尾の魚。日本語には数えるための言葉「助数詞」が豊富にあります。火鉢の数え方からメールの数え方まで、258種類の助数詞を掲載。日本人のものの「捉え方」がわかる一冊。

飯田 朝子 // 著 東邦出版

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

